

■ 4年に一度の科学技術の祭典で関西大学の「知」を世界へ発信！ ■
日本初開催「世界工学会議 2015」に出展
～ 先端科学技術がもたらす豊かで安全安心な暮らしをめざして ～

関西大学では、11月30日（月）から12月2日（水）の3日間、国立京都国際会館で開催される「世界工学会議 2015」において、ブース展示およびポスターセッションを行います。

世界工学会議は、世界工学団体連盟（WFEO）が中核となり、2000年からおよそ4年に一度開催している、工学のあらゆる分野を横断し技術の進化と社会への貢献について議論する国際会議です。日本で初めての開催となる今回は、統一テーマ「工学：イノベーションと社会」と3つの主要テーマ「Ⅰ：持続的な成長と社会の発展に向けたイノベーション」「Ⅱ：イノベーション実現に向けた工学研究および開発」「Ⅲ：社会のための工学」を掲げ、全世界の平和・経済・社会の進歩のために、イノベーションと基盤技術の進展および国際交流の促進を目的としています。

このたび、主催団体の一つである日本工学会から、本学の研究力と先端かつ独創的な研究活動に対し高い評価をいただくとともに、強い要請を受けたことから同会議への参画を決定しました。先端研究を牽引する各分野の著名な研究者や技術者、国・地域を代表する政府関係者など、約80カ国・地域から3,000人規模の参加が予想されており、先端情報技術・防災・社会学といった学際的な研究チームで参画することにより、本学の研究力を世界に向けて発信できる絶好の機会と捉えています。

具体的には、「環境、化学・エネルギー、社会安全、情報技術など先端技術がもたらす、豊かで安全安心な暮らしをめざして」をテーマに、理工系学部をはじめとする5学部・10人の教員が展示ブースによるシーズ発表、ポスターセッションによる研究成果発表を行います。環境問題、健康と安全安心な暮らし、エネルギー問題など、世界が直面する重要課題の解決に、先端科学技術がいかに応え得るか。さらには、重要文化遺産の保存と継承に挑む文理融合の取り組みなど、総合大学ならではの最先端の研究成果を公開します。大学個別での出展は、京都大学・早稲田大学をはじめ5校のみで、西日本の私立大学では本学が唯一の出展となります。

つきましては、本学の先端研究への取り組みの一端をご覧いただくことができますので、ご多忙のところ恐縮ですが、取材についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- | | |
|-------|--|
| 1 日 時 | 11月30日（月）～12月2日（水）※本学出展日時 |
| 2 場 所 | 国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
(京都市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車 徒歩5分) |
| 3 内 容 | 約80カ国・地域から3,000人規模の研究者・技術者・政府関係者らが参加する「世界工学会議2015」において、本学理工系学部をはじめとする5学部・10人の教員が展示ブースによるシーズ発表、ポスターセッションによる研究成果発表を実施。※詳細は別紙をご参照ください |

以上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■「世界工学会議 2015」関西大学出展概要

- 1 日 時 11月30日(月)～12月2日(水) ※本学出展日時
- 2 場 所 国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
(京都市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」下車 徒歩5分)
- 3 出展テーマ 「環境、化学・エネルギー、社会安全、情報技術など先端科学技術がもたらす、豊かで安全安心な暮らしをめざして」
- 4 出展内容 環境問題、健康と安全安心な暮らし、エネルギー問題など、世界が直面する重要課題の解決に、先端科学技術がいかに応え得るか。さらには、重要文化遺産の保存と継承に挑む文理融合の取り組みなど、総合大学ならではの最先端の研究成果を公開する。

5 研究発表詳細

1 ブース展示及び展示テーマ (11/30、12/1、12/2)

(1)システム理工学部 青柳誠司教授

「3D laser lithographic fabrication of hollow microneedle mimicking mosquito and its characterization」

(蚊を生体模倣した中空マイクロニードルの3Dレーザーリソグラフィーによる作製と性能評価)

(2)環境都市工学部 河井康人教授

「Development of edge-effect suppression barriers」

(エッジ効果抑制型遮音壁の開発)

(3)化学生命工学部 宮田隆志教授

「Smart Soft Materials for Biomedical and Environmental Applications」

(医療・環境分野に利用できるスマートソフトマテリアル)

(4)先端科学技術推進機構 石川正司機構長 (化学生命工学部教授)

「High-Performance Batteries Enhanced by Materials Durable Even in Space Operation」

(宇宙空間での作動を可能にする新材料を適用した高性能電池)

(5)社会安全学部 高橋智幸教授

「The Development of Augmented Reality Visualization Technology for Tsunami Risks with a Camera-Embedded Eyeglass」

(AR(拡張現実)を用いたカメラ内蔵型メガネによる津波リスク可視化技術の開発)

(6)社会学部 林直保子教授

「The Tale of the Heike : Ultra-high resolution images of the illustrated handscroll」

(超高精細デジタル化技術による平家物語絵巻の可視化)

2 ポスターセッション (12/2)

(1)システム理工学部 平田孝志准教授

「Design of low power all-optical networks under four-wave mixing constraints」

(四光波混合を考慮した省電力光ネットワーク設計)

(2)環境都市工学部 山本秀樹教授

「Development of a Compact-Sized Falling Needle Rheometer for Flow Analysis for Human Blood」

(小型落針式レオメータを用いた人血液の流動解析装置の開発)

(3)化学生命工学部 細見亮太助教

「Hypoxic Gel Ice Storage Extends the Shelf Life for Marine Species Compared with Block Ice Storage」

(ナノ窒素海水ジェルアイスを利用した魚介類鮮度保持期間の延長)

(4)社会安全学部 小山倫史准教授

「Crack/joint measurement of ancient masonry structures using photogrammetry at Bayon central tower, Angkor ruins, Cambodia」

(カンボジア・アンコール遺跡バイヨン寺院における写真測量を用いた石積み建造物の安定性評価)

6 その他出展大学 京都大学、早稲田大学、京都工芸繊維大学、豊橋技術科学大学

以上